

持経宿、平治宿の巡回整備

◇実施日 9月16日(火) 晴時々曇り

◇参加者 沖崎吉信、松本吉殖、畑林秀味、湯川一郎、梶野照雄、

高橋桂太、村吉光夫

7名

平治宿トイレの排水溝工事が終了し、残る懸案作業は持経宿のストーブ交換と平治宿小屋の屋根再塗装となっている。



天井に穴

マットを平治宿に

高橋君は各小屋の床マットの汚れを気にしていたらしく「新しいものに替えましょう、寄付します」との申し出があり、6月7日に行仙宿小屋、9月7日に持経宿小屋のマットを取り替えたが、池郷林道の通過に時間がかかり、平治宿まで行くことが出来なかったの

で、ストーブの煙突工事と同時に平治宿小屋の床マットを敷くことになった。今回のストーブ設置はその下準備で、天井に穴を開け、煙突の先端を取り付ける。屋根の防水工事が必要なので、松本君の都合に合わせ、この日の実施となった。当日、池郷林道ゲートまでの村道部分は重機で整備されていてスムーズに走行できたが、ゲートから先は水流で荒れていて、特に2.5km付近は大荒れで、20cmを越える深さの溝が100m程続いていた。何とか通過したが、これも9月7日に6人が3時間半を要して整備してくれたおかげだ。持経宿に着後、高橋、村吉、梶野3名が床マットを持って平治宿に向かう。松本、畑林、湯川の3名が新ストーブの煙突取り付け作業、沖崎は旧ストーブの撤去を行う。



煙突の先端を取り付け

旧ストーブを撤去

野地板の穴あけは、脚立に登り上を向いての作業で、松本君は悪戦苦闘。野地板に穴は開いたが、胴縁が出てきてこれも大変そうだった。一時間近くを要して屋根に穴が開いた。発電機の不調で電動工具が

使えないため、充電ドリルでの作業となった。屋根に上って煙突の先端を取り付け、周りの防水を行った。旧ストーブの撤去は、後付けのペール缶やレンガ、残灰はすぐに取り除いたが、ストーブ本体が分解できず、重くて移動も困難なことから、平治宿班が戻ってから対応することにした。午後1時前に平治宿から3人が戻り昼食を摂る。



次回床材を張る

本日の参加者

粘着シートを置く

昼食後、松本、畑林の2名は旧ストーブの煙突を撤去。湯川君は先に下山した。残りの4名で思い旧ストーブを表に運び出し、ベンチの北側まで移動した。この旧ストーブをどう処分するかが大問題だ。新しい床マットを少し汚してしまったので、高橋、村吉の2人が雑巾がけしてきれいにしてくれた。以上で本日の作業を終えたが、新ストーブと煙突が未接続の為、今一度出向く必要がある。次の工事でストーブは使用可能となる。

(記：沖崎)

【平治宿】

村吉、高橋、梶野の3人で平治宿に向かう。9月7日に平治宿まで行くことができなかったため、持経宿にデポしたマットを持って行く。村吉、高橋の2名は床マットの箱をそれぞれ担ぎ、私は平治宿のベンチを担いでいく。分解した状態で持ってきたが、組み立てても重さは変わらないので、持経宿で組み立てて背負子に括った。9月半ばを過ぎても気温は高く、大汗をかく中又尾根分岐に到着。しばらく休んで平治宿に着いた。



床マットを敷く

ベンチを交換

高橋、村吉の2名は床マットを敷き始める。行仙宿、持経宿で経験を積んでいたので、手順はよくわかっていて。私はベンチを交換。半分腐った木を外し、下の土を少し削って設置完了。少し短い材料の都合なので致し方ない。床マットを小屋内のお二人に手渡し、20分程でマット敷は完了した。平治宿小屋は床面積が最小なので時間はかからない。来るときは暑くて休憩が多く、平治宿まで1時

間20分も掛かってしまったので、急いで持経宿に戻った。帰り、暑さは変わらないが、荷物が減り楽に歩けるようになったので、50分程で持経宿に着いた。昼食後、旧ストーブを運び出す。4人がかりでも持ち上げるのがやっとなので、転がすようにして外に出した。ボルト12本で留めているようだが、長年の熱とサビで固着してビクともしない。次回切断してみようと思う。ネズミ捕りの粘着シートを置いて小屋を離れた。

(記：梶野)

行動タイム

スポーツ公園駐車場 08:40→09:50 持経宿 10:05→11:25 平治宿
12:07→12:55 持経宿 15:10→16:15 スポーツ公園駐車場